

移動等円滑化取組計画書

令和6年6月19日

住 所 鹿児島県鹿屋市打馬2丁目16-6

事業者名 鹿児島県大隅地域振興局建設部

代表者名 建設部長 小濱 磨

(役職名及び氏名)

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の4の規定に基づき、次のとおり提出します。

I 現状の課題及び中期的な対応方針

垂水港フェリーターミナルは、これまでも施設利用者の利用環境の向上を図る取組を進めており、高齢者や障害者等が安心して利用できる施設となるよう日常的な施設点検や案内周知の徹底を図っているところであるが、今後とも移動等円滑化整備ガイドラインに沿ったターミナルとなるように務めることとしている。

II 移動等円滑化に関する措置

① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設及び車両等	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
通路、待合所	高齢者や障害者等が安心して安全に利用できるよう、適宜、椅子等の配置を見直す。

② 旅客施設及び車両等を使用した役務の提供の方法に関し法第八条第二項及び第三項の主務省令で定める基準を遵守するために必要な措置

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
高齢者・障害者の通行	通路の破損等により通行に支障を来すことがないよう定期的な施設点検を実施し、通行しやすい環境を維持する。

- ③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
高齢者・障害者の通行	上記②に同じ

- ④ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
案内看板の設置	ターミナル内のレイアウト等が分かりやすい看板を設置し、目的の場所が容易に把握できる環境を確保する。

- ⑤ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
職員の意識の向上	高齢者や障害者等に関する情報共有を行い、職員の意識の向上を図る。

- ⑥ 高齢者、障害者等が高齢者障害者等用施設等を円滑に利用するために必要となる適正な配慮についての旅客施設及び車両等の利用者に対する広報活動及び啓発活動

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
ポスターの掲示	高齢者や障害者等がエレベーター等を利用する際に、伝達事項や留意事項が把握しやすいように視認しやすい位置や内容で掲示する。

Ⅲ 移動等円滑化の促進のためⅡと併せて講ずべき措置

利用者からの意見を運行事業者とも共有し、ターミナルの改善に活用する。

IV 前年度計画書からの変更内容

対象となる旅客施設 及び車両等又は対策	変 更 内 容	理 由

V 計画書の公表方法

鹿児島県ホームページにより公表する。

VI その他計画に関連する事項

--

注1 IVには、IIについて前年度と比較して記入すること。なお、該当する対策が複数になる場合には、新たに欄を設けて記入すること。

2 Vには、本計画書の公表方法（インターネットの利用等）について記入すること。

3 VIには、IIの欄に記入した計画に関連する計画（事業者全体に関連するプロジェクト、経営計画等）がある場合には、必要に応じ、その計画内容及び計画における当該事業者の位置付け等について記入すること。